

東京鶴城会便り

発行責任者
西村 恭輔

まだまだ元気で若い「三一会」と「五六会」です！

母校の創立九十周年記念行事に便乗して、宇土高第八回生・昭和三十一年卒の同窓会が開催されました。東京近郊在住者（一九五六年卒）の五六会から十名の参加者があり、熊本在住者（昭和三十一年卒）の三一会と合わせて五十二名がメルパルク熊本の会場に集まり、年齢を忘れて青春時代の顔を取り戻し、楽しい思い出話に花を咲かせました。

二次会は、スナックを貸切りでのカラオケで大いに盛り上がりました。翌日は、「三一会同級会ゴルフコンペ」（写真）と称して、松橋町の「あつまるレイクカントリークラブ」で腕を競い合い、夜は前日同様にスナック貸切りでのカラオケ、更に三日目は、個人所有のクルーザーでの釣りを楽しみました。釣った鯛、フグ、めばる等は、料理職人の手でさばかれ、美味しい地酒の肴となり、有意義なひと時を過ごしました。三泊四日の熊本訪問は、三一会級友達の盛大な歓迎と接待に出会い、感激はもとより、三一会と五六会の級友達は、まだまだ元気で若いということを実感しました。次回の七十七歳の喜寿の祝いには、また元気で再会することを楽しみながら、帰路の途につきました。

昭三十一年卒 大川勝利



【東京鶴城会の思い出】

昭和43年に川崎市の南武線沿線にある会社に就職し、宇土高校同窓会の東京鶴城会があることも知らない中で、数年後に東京鶴城会総会・懇親会の案内状を受け取りました。会場は霞ヶ関ビルの東海大学校友会館でした。同期は数人しか知らず、連絡をとり二人で出席したことが最初でした。

当初の数回は、先輩達とどんな話をすればいいかわからず、「出席してもつまらない」と思いながらも「美味しい物を食うた」ことが唯一の楽しみでした。その後、大体数年毎に出席しているうちに先輩や後輩の方とも親交ができ、色々と歓談もできるようになりました。また、昭和27年卒の先輩から、私の父のエピソードを聞き（父は宇土高勤務の時期がありました）、鶴城会が身近に感じるようになり、楽しめて、活力にもなりました。

総会を推進する当年の幹事役が、平成4年(46歳)に回ってきました。事務局や先輩のご指導によりスムーズに推進でき、東京鶴城会名簿も改訂し、総会出席者は200余名となり、懇親会、二次会とも大盛況でした。当年幹事を担当したことで、同期18名が集まり、活発な年度の方達には及びませんが、同期会（三九会）を何年か毎に行い（約10名が参加）、都内の名所など散策したり、親睦を深めています。（約2年前は六義園散策：写真）また、総会には4～5人以上出席するようになりました。

最後に、時代の変化・流れもありますが、諸先輩達が楽いて来られた東京鶴城会をみんなで、「より楽しく・より明るく・より親しめる」会にして、より一層発展させましょう。

谷川 研一（昭39年卒）

東京スカイツリーとすみだ
新・発・見

連日の様にテレビでも紹介され、話題になっている東京スカイツリー（写真）ですが、見上げると、うしろに倒れそうになる程の高さに「圧倒」されます。周りには、お土産屋さんやカフェも出来て、地方からの車やバスが列をなして、今まで静かだった下町が様変わりしています。水族館やプラネタリウム、それにレストラン街、ショッピングモールも出来る予定です。完成後のタワーのライトアップも楽しみです。また、小さな博物館や工房ショップ（例えば、江戸小紋、屏風、羽子板、江戸切子等々）も墨田区内にあるので、お昼時間を利用して、十間橋の「逆さツリー」を見て、近くのカレー専門店でもランチなどは如何でしょうか。アパートだった建物をレストランにリニューアルしたレトロで雰囲気のあるお店です。電話予約して行くといいですよ。

墨田区向島在住 南岡 栄子（昭45年卒）

※カレー専門店 “スパイスカフェ”

所在地：東京都墨田区文花1-6-10

電話：03-3613-4020

定休日：月曜日、第3火曜日、2月全日
（但し、月曜日が祝日の時は営業、翌日休み）



宇土高昭和44年卒は、昨年還暦を迎えました。昨年のお盆にホテルニューオータニ熊本で「同期生還暦を祝う会」が盛大に行われ、東京方面からも5名参加しました。東京鶴城会44年卒も「何かやろう！」ということで、「還暦祝一泊旅行」を計画し、12名の参加がありました。昨年11月20日、21日の一泊二日で紅葉の箱根・大平台に宿をとり、先ずは、ゆっくりと温泉につかり、いい汗を流しました。夜の宴会が始まり、カラオケでさらに盛り上がりを見せ、時間を延長してもらい、楽しいひと時を過ごすことができました。

翌日は、箱根登山鉄道から紅葉を眺め、小田原城を見学し、皆で昼食を済ませて解散となりました。今年は退職あり、熊本に帰る人もいますが、同期生会は続けていきたいと思っています。



田口 達志（昭44年卒）



「警視庁鶴城会」は、まさに質実剛健です！

警視庁鶴城会は、平成5年から同窓の親睦を目的に集まった会です。年一回の親睦会を開催しまして、平成22年の現在まで続いています。会員は、OB(昭和28年卒～43年卒)18名、現職(昭和44年卒～60年卒)20名で、いづれも男性ですが、女性の紅一点は、平成16年卒で、現在、警視庁音楽隊のメンバーとして活躍しています。男性警察官は、(宇土高校)昭和61年卒から平成22年卒までは把握していませんが、(警視庁鶴城会名簿に)漏れているかと思っています。最終学歴で把握している点もあることから、漏れがあるのではと思っています。

昨年12月4日に開催した同鶴城会は、OB10名、現職5名の参加でした。(例年は、職業柄、年末を避けていましたので、それぞれ半分の参加でした) 先輩方と現役のみなさんとの話も杯が進むにつれて、高校時代の話、田舎の話で盛り上がりました。先輩方は、孫の話や健康の話、現役組は同組生の話、仕事の話などで花を咲かせていたようです。

同窓というものは、先輩、後輩関係なく、何でも話し合える仲間の雰囲気があります。今日程、このような雰囲気が必要かも知れません。熊本の焼酎「しろ」も話を盛り上げてくれました。(ありがとう！「しろ」ちゃん) 一昨年に続き昨年も叙勲を受章された先輩方を以下に紹介させていただき、お二人の栄誉を心から称えたいと思います。 細田 政勝(昭34年卒)

平成21年 瑞宝双光章

松原 昌次 氏(昭和28年卒、富合町出身)

平成22年 瑞宝双光章

本田 淳 氏(昭和32年卒、三角町出身)



心の空白のピースを埋めました！！

皆さんは少年時代～高校時代の出来事で、何となく気になっていることはありませんか？
私は、つい最近までどうしても気になっている事が二つありました。

一つ目は、宇土高校に合格した時、昭和39年の熊本日日新聞の夕刊に載った自分の記事です。この年、リッカー・ミシン(株)が日本育英会の特別奨学生合格者のうち全国で200名を表彰するというところで、幸運にも表彰対象者に自分も選ばれました。県の教育長室で教育長から激励の言葉と金一封を受け取ったことを覚えています。

奨励金の金額は5万円で、当時の大卒の初任給が2万円前後だったことを考えれば、今の金額では50万円ほどでしょうか。母親はその記事を見たと言って喜んでいましたが、当時、熊日は家では取っておらず、結局自分は記事を見ないまま朝日新聞で自分の名前が載った「表彰者一覧」を見ただけでした。
最近になって、「一体どんな風に紹介されていたのだろう、見てみたいなあ・・・」という気持ちが強くなり、ネット検索なども試みたのですが、なにせ古過ぎて検索にも引っかかりません。結局、熊本日日新聞社に直接手紙を書いて、当時の記事の写しと写真を送ってもらいました。(その記事の写しと写真を)取り寄せて見ると、何の変哲もない小さな記事と他愛もない表情をした写真でしたが、自分にとっては、心の空白のピースをやっと埋めることができた気分でした。

もう一つは、気になっていた人との再会です。中学、高校と一緒にあった女性ですが、還暦時の同窓会をきっかけに友人を介してやっと消息がつかめ、帰郷した時に会ってきました。会ってみれば彼女も自分のことが気になっていたとかで、45年間の空白も一気に埋めることが出来るほど懐かしく、つい話し込んでしまいました。再会を約束して別れて、その次に帰郷した時にもじっくりと話し込んでしまいました。東京と熊本なので頻りに会うことはできませんが、今は月に1回程度の手紙のやり取りをしています。

こうして青春時代の思い出の空白のピースが2個埋まりました。皆さんも昔のことで気になっていることがありましたら、取り敢えず行動を起こしてみたら如何でしょうか。もしかしら、心に出ていた空白のピースが埋まるかも知れませんよ。

萩原 秀文(昭42年卒)

九州新幹線熊本開業に想う

昨年12月4日に東北新幹線の八戸～青森が開業し、今年3月12日には、九州新幹線の博多～新八代が開業となり、青森から鹿児島まで新幹線で結ばれることになります。東海道新幹線が東京～新大阪の運転を開始したのが昭和39年ですので、47年目にして、ようやく熊本まで新幹線で行けるようになりました。何しろ、東京を7時10分の「のぞみ9号」に乗れば、博多には12時13分に到着し、12時16分に博多発の「さくら303号」で13時00分に熊本に到着するため、東京～熊本の所要時間は6時間40分です。

宇土高の修学旅行で初めて東京に来た時は、熊本を屋に出て静岡辺りで朝になり、東京に着いたのは昼前だったと思います。就職して上京する時も、飛行機はまだまだ贅沢な乗り物で、寝台特急の「みずほ」で東京に直行するか、大阪まで夜行寝台で行って、新幹線に乗り換えるという二つの選択肢しかありませんでした。東京～熊本は、12時間～15時間程度かかっていたように思います。

しかしながら、最近では、帰省する時には、殆ど飛行機を利用します。航空運賃が40年前とほとんど変わっていない、というよりもむしろ下がっており、早めに航空券を予約すれば、鉄道よりも安いので、どうしても航空の方を選んでしまいます。鉄道も今では、博多乗り換えで6時間半で熊本に着くのですが、博多まで5時間以上の乗車という運賃以外の理由で、つい新幹線を選んでしまいます。

ところが、新大阪～熊本の所要時間が「みずほ」で3時間ということであれば、次の旅程シナリオが出来上がります。例えば、9時に東京を出発、14時から甲子園球場で高校野球を観戦し、大阪で好み焼きを食べた後、19時59分発の「みずほ607号」に乗れば23時00分には熊本に着き、23時13分の三角線の最終電車で間に合います。これなら、乗車時間もそれぞれ3時間程度と苦痛にはならず、運賃の高さも途中下車・観光で十分「元」が取れます。

今度の帰省は、いつものように飛行機にするか、「甲子園」と「好み焼き」付きの新幹線にするか、あるいは平日上限2000円の高速度1200km/hを15～16時間かけてマイカーで走るか、ゆっくりと考えてみようと思っています。皆さんも、家族構成や休暇の日数等でいろいろ結論は異なると思いますが、一つ検討してみませんか。

(尚、上記の新幹線の時刻は、12月22日にJR九州が発表した計画中の時刻です)

池田 伴雄(昭42年卒)



創立90周年の情景

母校・宇土高校の創立記念日の当日、平成22年10月9日の熊本地方は、朝まで小雨模様でした。私は昭和25年3月同校卒業以来、初めて母校を訪問しました。恥ずかしながら、60年余一度も足を踏み入れたことはありませんでした。久しぶりに校門を入ると、右側の大きな岩は昔のままでしたが、建物等は総て様変わりしていました。

式典会場の体育館が左側に現れてきました。太平洋戦争中、私たちが旧制宇土中学校に入学した当時、そこには、確か軍事教練用の武器庫があったと記憶しています。軍隊からの払い下げと思われる旧式の小銃等が整然と並んでいたの覚えています。私たち低学年は、(その小銃を)手にすることはできず、軍事教練に使用するのは、木を削っただけの木銃でした。「エイッ! ヤッ!」と掛け声勇ましく、銃剣術をやらされたものです。戦後、学制改革を経て、高校を卒業する頃には、そこはテニスコートになっていました。

式典会場に入ると、広い体育館内を埋めつくすように生徒たちが整然と着席していました。校長先生をはじめ来賓が次々に挨拶をする度に、生徒達の“一糸乱れず”一斉に起立、着席を繰り返す様子に大変感動しました。東京の新宿や渋谷で茶髪、金髪姿の若者を見慣れた眼には、全員黒髪の後輩達が頼もしくあり、新鮮で久しぶりに爽快感を味わうことができました。

夕方からは、熊本市内の日航ホテル大広間で祝賀パーティーが開催され、参加者800人を超える大盛会となりました。私も祝辞を述べることになり、「少子化の時代ですが、地元第一の中、ご子弟を東京にも出して下さい。東京鶴城会は、年々淋しくなっています・・・」と訴えましたが、さて? どうなるかは分かりません。将来が気になるばかりです。

東京鶴城会会長 西村 恭輔 (昭25年卒)

熊本城主になりました!

昨年2月、私は“熊本城主”になりました。

お存じの通り、熊本城は日本三名城の一つで、熊本の観光名所のシンボリック存在です。熊本城は、平成9年度に策定された「熊本城復元整備計画」により、本丸御殿など複数の建造物が復元され、観光客の目を楽ませています。城主と言っても、「一口城主」で一〇〇万円以上の寄付で熊本城の「一口城主」となり、名前が天守閣に掲示され「永代帳」に永久保存されます。

熊本を離れて30年が経ち、「少しでも、ふるさとに恩返しを・・・」の思いで、この「一口城主制度」に参加させていただきました。(右下写真は、城主手形です)

今年3月12日に九州新幹線が全線開業し、熊本への観光客の増加が期待されます。この「一口城主制度」にご興味のある方は、以下にお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

熊本城総合事務所

Tel:096-359-6475

メールアドレス: kumamotojou@city.kumamoto.lg.jp

(「熊本城」公式ホームページでも確認できます)



坂崎 守寿 (昭55年卒)

お知らせとお願い

『東京鶴城会便り』および広告の原稿を随時募集します。

『東京鶴城会便り』の原稿を随時募集しています。内容は同期会、旅行記、家族、ふるさと自慢、随筆、俳句・川柳など、なんでも結構です。お礼はできませんが気軽にメール、手紙などで下記までお送りください。

また、資金不足のため、1件5千円で広告をお願いいたします。会員の皆様のご協力をお願いします。

編集部 〒338-0811 さいたま市桜区白銀135-13 坂崎 守寿

Email mori.reds-041205@jcom.home.ne.jp

事務局 〒300-1636 茨城県利根町羽根野850-59 河野 毅

Email kohno@msd.biglobe.ne.jp

『東京鶴城会便り』No.2はWebでご覧いただけます。

No.2は資金不足のため、やむなくWeb発行としました。尚、前年、総会に出席された方、年会費の納入をいただいた方またはWebでご覧になれない可能性のある方には別途、郵送いたしました。ホームページは「東京鶴城会」で検索してください。

私のグルメレポート! - Vol.2 - 東京で味わえるふるさとの味

「ROCCA」(赤酒カクテル)

熊本のお正月といえば赤酒ですよ。高級みりんとしても一流料理店等で使われていますが、赤酒とみりんの違いは発酵という過程だそうです。清酒のように発酵と糖化が並行して行われる事により赤酒は甘みと旨みが増幅しているのです。是非、おしゃれなカクテルで楽しんでみませんか?

東肥赤酒60ml、ジンジャーエール90mlを氷を入れたグラスに注ぎ混ぜるだけ。ほんのり桜色のやさしいお味です。

昨年、この欄でご紹介した「ASOBI Bar」(銀座熊本館2F)で飲むことができます。

「八十八卵」(ヒトと地球にやさしい自然の卵)

八十八の意味は、お米を作るのに八十八の工程が必要とされていることに由来しているそうです。

この卵は熊本のお米を食べて育った鶏の卵なのです。だから八十八卵の黄身は、とうもろこしを食べて育った他の鶏の卵より色が薄いのですが、これが本来の黄身の色。色は薄くても味は濃厚でコクがあります。また、最近の研究でアレルギーも軽減されているという結果もでているそうです。

昨年11月からネット販売が開始されていますので、以下にアクセスしてチェックしてみてください。

www.nasufarm.com 那須ファーム 電話: 0964-32-2796

「焼鳥かめや」

今回のお店紹介は、池袋にある「焼鳥かめや」です。このお店は、昭和53年卒の浅尾由美子さんのご親戚が経営していて、どの料理も美味しいと評判のお店です。野菜を使った焼き物が豊富で女性ファンも多いとか。特にミニトマト巻とチーズ入りピーマンと肉の旨味がとろける“ピー肉”が人気です。特製の味噌だれも是非味わってみてください! コースが3000円以下から楽しめるのも嬉しいですね。

所在地: 東京都豊島区西池袋1-20-3-2F

電話: 03-3982-9458



Gourmet Reporter

塚原 直美 (昭52年卒)



熊本弁講座 - 「い」編 -

KUMAMOTO

創刊号からシリーズ化した熊本弁講座ですが、好評？につき、今回は「い」編です。恥ずかしがらずに、どうぞ声に出して、熊本弁の良さを存分にご堪能ください。

- ①「イクル」（食べられる／埋める）：
「あたあ、まだいくっど？ んにや、もういけん」
（あなたは、まだ食べられるでしょう？ いや、もう食べられません）
「コケニャ石ンイカトル」（ここには石が埋まっている）
- ②「イサッカ」（大変多いこと（県北）／元気がいいこと（県南））
- ③「イックヤス」（打ち壊す）：「アラクタマシカコツバスト イックヤスパイ」（乱暴なことをすると壊してしまうよ）／イックザスともいう。
- ④「イッチョク」（放っておく）：「ソギャンとはイッチョク」（そんなのは放っておきなさい）／ウッチョクともいう。
- ⑤「イッチョン」（一つも、全然）：「イッチョン ワカラン」（全然分らない）／イッチョ（一つ）モからの変化。
- ⑥「イヤシカ」（食べ物に関して）行儀が悪い
「イヤシカコツアシナハンナ」（行儀が悪いことはしてはいけません）／共通語と違って食事に関することだけ。
- ⑦「インネ」（いや（否）、違う）：「イヤ、インヤ、インニャ、ウンネ、ウンニャ、ンニャ、ンネ」なども。

楽しかった大同窓会・前夜祭、後夜祭付

昨年（2010）年10月9日、宇土高校の90周年の大同窓会に行きました。

私は最近退職し、“金はないが時間はある”状態になり、思い切って記念同窓会に出席するとそれは楽しいひと時でした。例年の倍近くの約800名の出席で会場のホテル日航熊本は満席です。知らない人は多いが同期の何人かに会うと、そこはもうウト高タイ。懇親会が始まると誰々ちゃんの誰、知り合いの誰々ちゃん、なに？ といこ？ 同期？ 何組？ 途端に騒がしくなります。なかには30年、40年ぶりという人も。また深夜帰宅となりました。前日に同期と久しぶりに再会しました。「今夜は前夜祭だね」と嬉しいのなんの。しゃべりすぎ飲みすぎで、やっとホテルに帰ったのは深夜でした。

同窓会の翌日、一緒に帰省したYちゃんと2日間飲みすぎたので体調を整え、5人の仲間が待っている八代へ屋前に着きました。途中の車窓は何となく懐かし、松橋、有佐、千丁、小川など聞き覚えの駅を通過します。高校生の夏、仲間と“不知火”を見に行ったことを昨日のように思い出しました。早速、同期の居酒屋で宴会が始まりました。宇土、松橋から来てくれた旧友も合流し、抱き合はんばかりの懐かしさ、うれしさでまた飲みすぎてしまいました。

仲間と別れ、翌朝、一人で八代駅に向かいSL人吉号がたまたま1つ空席があるというので、乗り込みました。土日のみ運行のため大変な人気だそうです。途中で2回ほど下車ができるという粋な計らいがあり、約70分で人吉に着きました。道中、球磨川の流れ、景観の良さを堪能することができました。温泉につかり、当然、球磨焼酎に触れてきました。まだまだ続きがありますが、お会いしたときに！！

(S40年卒 T.K.)

<編集後記>

10年振りに年末年始を小川町の実家で過ごしました。餅つき、忘年会、新年会、先祖の墓参、親戚の挨拶回り、温泉巡り等々、フルコースのスケジュールでしたが、とても有意義なひと時でした。大みそかには雪が降り、さながら東北・北海道で迎える正月気分を満喫しました。

帰省する度に、熊本の良さを改めて実感しています。上京して30年が過ぎ、ふるさとへの思いが“加速”したようです。皆様のふるさとへの思いは如何ですか。

坂崎 守寿

「くまモン」をご存じですか？

九州新幹線の全線開通をPRする「くまもとサプライズ」キャンペーンとして登場した、熊本県のマスコット・キャラクター「くまモン」をご存じですか？ 熊本県宣伝部長の女性タレント・スザンヌさんとの共演もあり、今後、目に触れる機会もあるかと思っておりますので、温かく応援してください。「くまモン」の公式サイトは、下記へアクセスしてみてください。

<http://cyber.pref.kumamoto.jp/kumamon/>

祝・『東京鶴城会便り』第2号

上尾市区長会連合会

副会長 植田 幸一
(昭24年卒)

〒362-8501
埼玉県上尾市本町3-1-1
TEL(048) 775-4539 (直通)
<事務局>
上尾市企画財政部自治振興課

内閣府認証

パソコン整備士協会

会長 西村 恭輔
(昭25年卒)

〒101-0034
東京都千代田区神田東紺屋町28
那智ビル6階
TEL.03-5297-2558 FAX.03-5297-7027
<http://www.pc-seibishi.org>

田中 幸資
(昭38年卒)

車の買い取り・販売のご相談は
日東金属株式会社・車輻部

代表取締役 永井 秀夫
(昭40年卒)

〒158-0083 世田谷区奥沢7-11-5
TEL 03-3704-0161 Fax 03-3704-0170

昭40年卒 境屋 由夫
(宇土市本町5丁目出身)

実家は薄鋸製造販売の老舗です。
宇土に御帰郷の切は是非、「境屋かまぼこ店」にお立ち寄りください。
住所：宇土市旭町421-4
TEL：0964-22-0162

アプリコット出版株式会社
『半歩先のクリエイティブ』
・児童英語教材の草分け的存在の出版社です
・詳しくはホームページをご参照ください
<http://www.apricot-plaza.co.jp/>
萩原 秀文
(昭42年卒)

PAPER AND PRINTING
グローイン

代表 森内 忠美
(昭50年卒)

〒101-0051
東京都千代田区神田神保町1-62 2F
TEL & FAX 03(3259) 1116
E-mail: growintn@aol.com

東京宇城市会
宇城市出身の方、是非、ご参加下さい。

塚原 直美 (昭52年卒)
〒154-0002
東京都世田谷区下馬3-32-8-205
E-mail: yavo-reene@s9.dion.ne.jp